

開設講座名	【選択必修】 生涯学習社会における学校・家庭・ 地域の連携協力のあり方	担当講師	天野かおり		
講習会場	山口県立大学（北キャンパス） 2号館 B206 教室	会場所在地	山口市桜島 6-2-1		
開設日	令和2年8月18日(火)	時間数	6時間	受講定員	40人
募集期間	令和2年5月17日～5月31日	履修認定 時期	令和2年9月30日まで		
履修認定 対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な 受講対象者	小・中・高等・特別支援学校教諭、 養護教諭、栄養教諭		
受講料等総額	6,000円	うち受講料 以外の経費	0円		
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ・スクールの意義と役割について、学校と家庭、地域のあり方という観点から論じることができる。 ・ 「地域学校協働活動」を「学校支援地域活動」との相違という観点から論じることができる。 ・ 「社会に開かれた教育課程」を「地域とともにある学校」づくりという視点から論じることができる。 ・ 生涯学習の理念と、生涯学習社会において学校教育が果たす役割とその意義について論じることができる。 					
<p>【講習の概要】</p> <p>教育基本法の第13条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）を持ち出すまでもなく、学校にとって家庭と地域とのつながりは、もとより欠かせないものである。とはいえ、「開かれた学校づくり」から「地域とともにある学校づくり」へ、地域による「学校支援活動」から「地域学校協働活動」へと、つながり方を表象するキーワードは変化をみている。本講座では、学校・家庭・地域のつながりを生涯学習の視点から問い直すことを試みる。</p> <p>講習の計画：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コミュニティ・スクールの意義と役割 <ol style="list-style-type: none"> ① 学校運営協議会としてのコミュニティ・スクール ② 実態としてのコミュニティ・スクール (2) 「学校支援地域活動」から「地域学校協働活動」へ <ol style="list-style-type: none"> ① 「学校支援地域本部」の学校応援団化 ② 「地域学校協働活動」に期待される機能 (3) 「社会に開かれた教育課程」と「地域とともにある学校づくり」 <ol style="list-style-type: none"> ① 社会教育からの示唆 ② 「サービス・ラーニング」からの示唆 (4) 生涯学習の理念と生涯学習社会の構築 <ol style="list-style-type: none"> ① 生涯学習と地域づくりの関連性 ② 学校という場を核とした地域づくりという発想 					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法： 論述試験</p> <p>評価基準： 講義の内容を十分に理解できたことが採点者に伝わるよう、【到達目標】に掲げた4点について自己の考究の成果を述べることができる。</p>					
<p>【テキスト・参考資料】</p> <p>テキストとなる参考資料を配布する予定</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>特になし</p>					